

令和6年度 西区 区域まちづくり事業 効果検証シート										
事業名称						実施主体				
子育て支援イベント事業						西区役所 子育て支援課				
事業目的		事業内容			活動指標		R4	R5	R6	
未就学児とその保護者に対し、親子どうしの交流や地域の子育て支援関係者（相談専門職員・子育て支援アドバイザー等）との交流機会を提供し、子育て支援サービスの情報提供と利用促進を図ることで、育児の孤立化を予防することを目的とする。		西区内の公園・体育館・区役所等、区民にとって身近な場所で未就学児と保護者を対象に以下の事業を実施する。 ・おしゃべりたいむ 保健師、保育士、子育て支援コーディネーターが連携し、講義や参加者同士の交流、遊びの提供、体験型のイベントを実施（3回）。 ・おひさまひろば 公園や体育館で遊具を使った集団遊びの提供を行うことで親子が遊びを通じて、保護者のリフレッシュや、こどもとの関わり方などを伝える（4回）。 ・コーディネータールーム 主に保育所等の入所情報を中心に、子育て世代が知りたい情報をテーマに講義や参加者同士の交流を行い、悩みを共有する場を設ける（4回）。			イベント・講座参加人数		304人	228人	239人	
					参加後アンケート結果 イベントに参加してよかったか 「とてもよかった」「よかった」と回答した割合		100.0%	100.0%	97.4% （アンケート回答者：154人・「ふつう」と回答：4人）	
①妥当性		②協働の視点			③インパクト		④効率性			
◎	未就学児とその保護者を対象に、子育て支援サービスの情報提供や親子の交流機会を提供し、育児の孤立化防止や地域とのつながりの促進に寄与している。 市の子育て支援施策に沿った区の取組として妥当性がある。	◎	地域の子育て支援アドバイザーをはじめ、講師、消防署職員、保健師、保育士、子育て支援コーディネーター等、地域の子育て関係者が幅広く連携し、アイデアを出し合いながら事業を企画し、進めている。 講演や遊びの提供を通じて、参加者との対話や参加者同士の自然な交流も生まれている。こうした取組により、地域ぐるみで子育てを支える場としての機能が作られてきている。	◎	保護者にとって有益かつニーズの高い保育所入所に関する情報提供を行い、特に育児復帰を控えた保護者から高い評価を得た。 また、消防署での「親子防災イベント」では、救急・災害時対応の講義や消防車の乗車体験などを実施し、保護者と子ども双方に関心が高まる内容となった。	○	気軽に参加できるイベントや講演を通じて、区役所に来庁される方だけでなく、普段は区役所を訪れる機会の少ない保護者に、子育て支援サービスに関する情報を直接的かつ丁寧に提供することができた。 ホームページや広報・SNSなどで情報を発信しているが、当該事業を通して、対象者により直接的に必要な情報を提供でき、効率的な周知、啓発につながった。			
⑤自立発展性		総合評価								
△	地域との連携や協力体制の強化につながっているが、当該事業は、未就学児とその保護者の交流の機会提供だけでなく、子育て支援サービスの情報提供及び利用促進と育児の孤立化予防を目的としているため、行政が主体となって実施することが重要である。	○	本事業は、未就学児とその保護者に対し、子育てや子育て支援サービスに関する情報提供と交流の機会を提供し、育児の孤立感の軽減や地域とのつながりの促進に寄与するものである。 アンケートでは「とてもよかった」「よかった」との回答が多く、参加者からは「また参加したい」との声も多数寄せられた。 一方で、アンケート回答者154人中4人が「ふつう」と回答しており、すべての参加者にとって満足度の高い内容にするには、イベント内容のさらなる工夫が求められる。 特に、子育て支援アドバイザーによる丁寧な対応や遊びの提供、保護者同士の自然な交流は好評であり、区民の子育て支援ニーズに応える取り組みとして一定の成果を上げたと評価できる。							
今後の方向性（課題、改善提案等）										
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は、昨年度に引き続き対面形式でイベントを実施し、子育て支援サービスの紹介や個別相談、参加者同士の交流の場を提供した。当該イベントをきっかけとして、後日に相談へとつながった事例もあり、支援の入り口としての役割を果たしている。一方で、イベントによって参加者数にばらつきが見られた。特に、体育館での遊びをテーマとしたイベントでは、募集人数が多かったことや、内容の魅力が十分に伝わっていなかった可能性もあり、実際の参加者数が想定を下回る結果となった。 今後は、イベントのテーマや開催時期、広報方法、内容等を見直し、参加者が募集人数に満たないイベントを減らしていくことが課題である。特に広報については、広報課LINEや区長Xの積極的な活用、ホームページのリニューアル等を通じて、区民がイベントの内容によりアクセスしやすくなるよう工夫する。また、イベントへの参加が難しい保護者にも情報が届くよう、講義内容の動画配信など、オンラインによる情報発信の強化も検討する。さらに、今年度は子育て支援アドバイザーの関与を広げたことで、参加者から高い評価を得た。来年度は、アドバイザーが企画段階から参画し、参加者とアドバイザーとの交流をメインとしたイベントの企画・実施を進める。									